

*** 乗鞍コロナ観測所で珍しい「光柱」の写真**

乗鞍コロナ観測所が2009年度で観測を終了し、閉所作業が進んでいる。その作業の一環として25cmコロナグラフを三鷹に撤収する役目を志願し、片付けに参加している際見つけた珍しい気象現象の「光柱」写真(写真1)である。

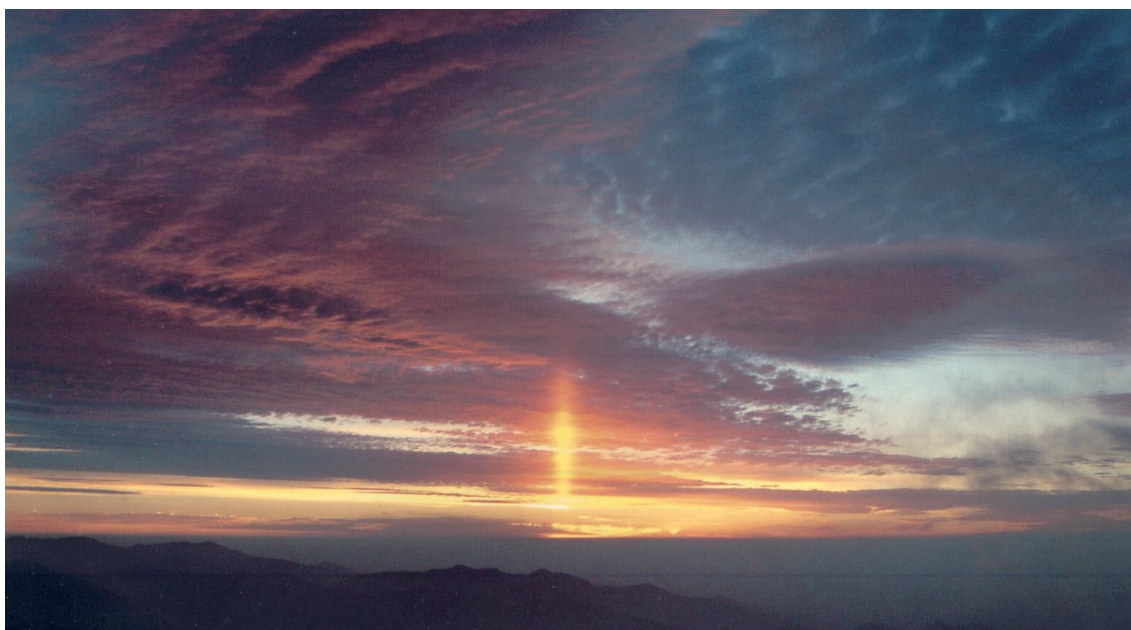


写真1 日の出前の朝焼けと偶然出現した光柱

光柱は、太陽柱(たいようちゅう)とも呼ばれ、日出または日没時に太陽から地平線に対して垂直な方向へ立ち上がる光芒が見られる大気光現象である。雲の中に板状の氷の結晶があり風が弱い場合、氷の結晶が落下の際、空気抵抗のために地面に対してほぼ水平に浮かぶので板状の氷の結晶の表面で太陽光線が反射され、太陽の虚像として見える現象が光柱(太陽柱)である。

この現象は、通常日出または日没時に飛行機や高山などに限って見える珍しいもので、この写真は乗鞍コロナ観測所で撮られた貴重な写真だ。